

寒い北の国で暮らす人々にとって、トナカイはとても大切な存在です。マトリット・インガは5歳ですが、自分のトナカイを5頭持つています。彼女と家族、仲間たちはどんな暮らしをしているのでしょうか。



ポテラ社  
ホテギル・トリカノタ



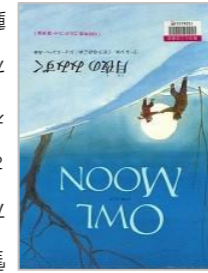
『ゆきとトナカイのうた』



カリー・スティーブ  
あすなる書房



『トナカイ』をくぐる』



冬の夜ふけ、女の子は父さんといっしょに、雪深い森の中をのみずくさがしに出かけました。わしみずくのうたごえでよびかける父さんのうしろで、じっと待つ女の子。静か森を歩いていくクワクワ感や画面いっぱいにかれたのみずくにドキドキする女の子の心の動きが伝わります。

シエリ=ヨリノ詩  
シエリ=ヨエハル絵  
偕成社

『月夜ののみずく』



理論社  
沢見 彰

『氷原の守り人』

一樹がアラスカに渡り、夢見たのは黄金を掘り当てること。しかし、そこには壮絶な戦いが待っていました。狩人の見習いとなり、大ぞりを走らせる一樹の冒険物語です。

『とびきりすてきなクリスマス』

リ・キング マン  
山内 玲子  
岩波書店



大家族のエルッキは、みんなで過ごすクリスマスを心待ちにしていました。しかし、一番上の兄・マッティの乗った船が行方不明になってしまったのです。家族の心がしずむ中、エルッキはどうすれば“とびきりすてきなクリスマス”を迎えられるのか、一人考えます。



『急行「北極号」』

C.V.オールズバーク  
村上 春樹  
あすなる書房

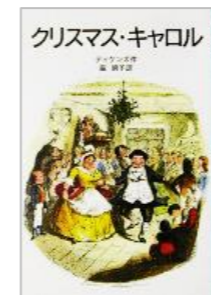


商人スクルージは、けちで気むずかし屋で、人情のかけらもなく、いつもお金のことしか関心がありませんでした。ところが、クリスマス・イブの夜、3人の幽霊が現れて、スクルージに過去、現在、未来を見せてくれ…。感動的なクリスマスの名作。



『クリスマス・キャロル』

チャールズ・ディケンズ  
脇 明子  
岩波書店



～テーマ別ブックリスト～  
「冬」に読みたい本

【5・6年生】



『雪の写真家ベントレー』

ジャクリン・ブリッグズ・マーティン  
メアリー・アゼリアン  
BL出版

雪深い地方に生まれたウィリー・ベントレーは、雪の結晶の写真をたくさん残しました。1つのことに興味を持ち続けたウィリーの物語です。

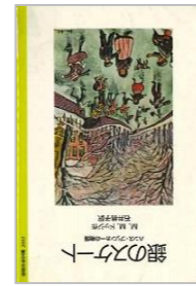


豊岡市立図書館



M.M.F. ヴィ  
石井 桃子  
岩波書店

『銀のスカート』



物語は冬から始まります。

トリーのおばあさんが住んでいる「グリーン・ノブ」は、むかし『グリーン・ノウ』という名前前のした。冬休みにおばあさんの所に遊びに行ったトリーは、そこで不思議な友だちを作ります。彼らの正体は一体…。トリーのグリーン・ノウ



評論社

ルシー・M・ホスト  
亀井 俊介  
グリーン・ノウ物語1

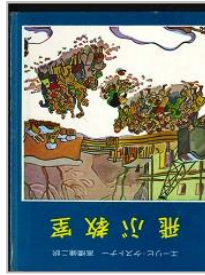


『グリーン・ノウの子どもたち』



エリク・クリッ  
高橋 健二  
岩波書店

『飛ぶ教室』



ドイツの寄宿学校では、高等科1年の生徒たちが、毎日、クリスマス劇「飛ぶ教室」のけいこに取り組んでいます。境遇や個性の違う少年たちと先生がおこなう勇気と友情、真心のやり取りが感動的な物語。

り出しますか…。

冬休み、ライオン農場へやってきたドイツ人とフロソアは、ツバメ号とアソソ号の乗組員6人と友達になります。そして、湖が氷るのを待って子どもたちは北極探検に乗



ラソサム・サーガ  
アサ・ツサム  
神宮 輝夫  
岩波書店

『長い冬休み』



(キリトリ線) 点線に沿って二つに折り、切り込みを入れてから線の位置で折りたたむと小さい冊子になります

『森は生きている』

サムイル・マルシャク  
湯浅 芳子  
岩波書店



『ジャンプして、雪をつかめ!』

おおぎやなぎ ちか  
新日本出版社



東京育ちの唯志は5年生。転校先の青森で、慣れない冬に悪戦苦闘しながら成長していきます。



読んだ本の☆をぬってみよう!

いくつぬれたかな?

コ

イラスト協力:わんバグ

2022.12 発行